

一般社団法人日本医療・病院管理学会 第437回例会

(共催：第231回東海病院管理学研究会)

会場：ウインク あいち1307会議室およびオンライン配信

【認定単位の取得】	・日本医師会生涯教育制度単位(*時間) ・日本医業経営コンサルタント協会継続研修認定 ・社会医学系専門医制度K単位*単位
【日 時】	2025年 9月 7日(日) 14時 00分～ 16時 00分
【会 場】	ウインク あいち1307会議室およびオンライン配信 (名古屋市中村区名駅4丁目4-38 名古屋駅桜通口から徒歩5分)
【参 加 費】	会員無料、会員外2000円
【事前登録】	https://tokaiha231.peatix.com
【申込み締め切り】	令和7年9月5日
【テーマ】	「病院とは何か」 療養や隔離の場から治療の場へ、そしてこの先はどうなるのか。医療制度など社会の変化や医療技術の進歩を背景に、病院という概念が変化していく可能性もある。病院とは何か。この問いを理解しないままでは、管理すべきものを適切に管理できないのではないだろうか。本研究会では、地域包括ケアシステムの推進が病院に与える影響、さらに医療DXなどの新たな技術や手段を活用して変容しつつある病院の姿を取り上げる。それらを踏まえ、変わるものと変わらないものを見極めつつ、病院とは何かを議論し、これからの病院管理が果たすべき役割と方向性を考えたい。
【司会】	勝山貴美子(横浜市立大学) 加藤憲(愛知淑徳大学)
【プログラム】	開会の挨拶 山内一信(東海病院管理学研究会) 講演1 地域包括ケアの拠点としての病院のこれから 大西文二(国立長寿医療研究センター) 講演2 今求められるスマートホスピタルと医療DX 白鳥義宗(名古屋大学医学部附属病院) 休憩 指定発言 村田幸則(藤田医科大学) 質疑応答
【第437回例会担当】	愛知淑徳大学 加藤 憲
【問い合わせ先】	tokaiha-office@umin.ac.jp